

令和元年度 基本事業評価シート（平成30年度実績評価）

政策 03 こころ豊かに暮らせるまち
施策 01 学校教育の充実
基本事業 04 時代の変化や国際化に対応できる教育の推進
主管課： 指導室
関係課： 学校教育課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
児童生徒	国際化、情報化等の新しい時代に対応した教育を実施する。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

外国語が話せるようになりたいと思う児童生徒の割合（％） 指導室					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
91.00	91.65	88.10	91.00	92.00	93.00
向上指針	上がると良い	（状況）基準値比で2.90ポイント、前年度比で3.55ポイント下回りましたが、依然として高い状態を維持しています。 （原因）ALTを全校配置して、小学校1年生から週1時間の英語活動を実施してきた成果が出ていると評価しています。一方で、2年後から小学校の高学年における教科化や時数増の動向もあり、学習に対する不安感が増していることが数値低下の一要因と考えています。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

インターネットが活用できる児童の割合（小学6年生対象）（％） 指導室					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
87.60	93.00	94.00	95.00	95.00	95.00
向上指針	上がると良い	（状況）目標値は達成していませんが、昨年度比で1.0ポイント、基準値比で7.4ポイント上昇しました。 （原因）授業において、調べ学習のツールの1つとして、インターネットを日常的に活用しています。タブレット端末による学習機会が増えることで、インターネットの活用が図られたと考えます。			
対前年度	向上				
目標達成度	高				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	209,465	251,245	265,388	276,867	277,808
人件費	1,940	2,940	2,671	0	0
トータルコスト	211,405	254,185	268,059	276,867	277,808

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

ALTを諸行事にも積極的に活用し、英会話コンテストに3名の中学生が県大会出場、弁論大会では上位入賞等の成果を収めました。11月には英語キャンプ、2月には小学生がスピーチを発表するフォーラムを行い、ALTが指導や運営に携わりました。今後も楽しんで英語を活用できる学習の展開に努めます。 タブレット端末を積極的に活用したことで調べ学習が充実し、インターネットの活用が進んでいます。インターネットで調べただけでなく、情報活用能力を育成するためにプログラミング教育を中核としたMORI・TECH（守谷型EdTech）を推進していきます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]